

保育指導案

指導者 広島市立〇〇幼稚園

教諭 〇〇 〇〇

1 期 日 令和元年〇〇月〇〇日～ 令和元年〇〇月〇〇日

2 時 間 〇〇時〇〇分 ～ 〇〇時〇〇分

3 目 的

- 「転がし遊び」を通して、幼児が遊びの中で、目的を見いだし、その達成に向けて、何が必要か、どのようにすればうまくいくかなど、「試行錯誤」（考えたり、試したり、工夫したり、表現したり）することができるようにする。

4 対象児 4歳児 〇〇組（男児 〇〇名 女児 〇〇名 計〇〇名）

5 場 所 広島市立〇〇幼稚園 ホール 保育室

6 活動名 転がし遊び

7 幼児の姿
(略)

8 ねらいと内容

- いろいろな素材を使い、自分のイメージを実現するために「試行錯誤」（考えたり、試したり、工夫したり、表現したり）しながら遊び、達成感や充実感を味わう。
 - ・ 転がす遊びに興味をもち、何がどのように転がるか、自分なりの考えをもって遊ぶ。（考える）
 - ・ 気付いたり発見したりしたことを試したり、工夫したりする。（試す、工夫する）
 - ・ 転がるイメージを表現したり、自分の考えを友達や教師に伝えたりする。（表現する）

9 教材観

- 遊びの中で幼児が「試行錯誤」（考えたり、試したり、工夫したり、表現したり）することは多様にある。その中でも「転がし遊び」は「試行錯誤」しながら遊べる題材であると考えられる。その理由は以下の通りである。
 - ・ 幼児は、自然物や身近な素材に触れ、転がるもの、丸いものがあると転がしてみようとするのではないかと予想される。
 - ・ 繰り返し転がすと、形状や重さによって転がり方に違いがあることに気付いたり、転がる坂道（斜面）を探したり、作ったりして、試す面白さを味わうのではないかと予想される。
 - ・ 「転がし遊び」は、幼児が土山や砂場などの遊びを通して、経験したことを生かして取り組むことができると考えられる。

10 指導にあたって

- 「転がし遊び」の保育においては、転がすものや坂道づくりなど幼児が主体的に環境に関わり、「試行錯誤」（考えたり、試したり、工夫したり、表現したり）することができるような援助を行う（具体的には次の項目で示す）。さらに、幼児が繰り返し転がすことで、ものの特性に気づき、転がり方の違いを見つけていける多様性のある素材を準備する。

- 幼児が「試行錯誤」(考えたり, 試したり, 工夫したり, 表現したり)して遊ぶことができるよう, これまで行ってきた自身の実践の工夫を基に, 教師の「援助」と「環境構成」の2点に沿った援助の工夫を行う。(以下, 本時保育指導案においてア-① ア-②…と記述)

項目		教師の援助の工夫
ア 援助	① 理解する	幼児が見付けた考えや思いを受け止め, 幼児が実現したいことを理解し見守る
	② 共感する	幼児が実現したいことや難しいことに直面していることに対して, 寄り添いともに知恵を絞る
	③ つなぐ	<遊びの中で・遊びの振り返りで> その子らしい考えや表現を認め, 友達同士が互いに気付けるようにつなぐ
	④ 見通す	幼児が失敗を気にせず実現したいことに向かっていく意欲を支え, 考えたことや試したこと, わかったことから, 次の手立てが見付けられるようにする
イ 環境構成	① 場づくり	幼児とともに遊びに必要なものを準備し, 実現したいことを可能にする場をつくる
	② 発想	多様な発想が生まれる素材を準備する
	③ 多様性	幼児が遊びに必要なものを選び, 使えるようにするために, 多様な種類の素材を準備する
	④ 可視化	遊びの過程やイメージをもつことができるような写真や図を表示する
	⑤ 見通し	遊びの継続ができるよう幼児とともに考え, 次に遊び出せる工夫をする

- 11 幼児が「試行錯誤」(考えたり, 試したり, 工夫したり, 表現したり)する姿の指導者の見取り
(・幼児が「試行錯誤」する様子が見られる発言や行動, 「 」具体例)

考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ こうしたい(遊びの目的)と考える ・じっくり見て考える ・他に方法がないか考える ・新しい工夫を考える ・問題を解決しようとする ・どちらがいいか(方法等比較して)考える ・友達の考えを聞いて考える 「～してみよう」「いいこと考えた」 「他の考えはないかな?」 「どうしたらいいかな?」「どうやって?」 「～すればいいかも」 「こんな風になるかな?」 「比べてみよう!どっちがいいかな?」 「～しない方がいいよ」 「ここが,～かもしれない」 「やっぱり～だ(考えたとおり)」 	試す	<ul style="list-style-type: none"> ・ こうしたいという目的をもち試す ・ 友達(教師)の考えを真似て試す ・ 繰り返し試す ・ 気付いたり発見したりしたことを試す ・ こうなると予想してやってみる 「～してみよう」 「〇〇さんみたいにやってみよう」 「もう1回やってみよう」 「こうしたらどうかな?」 「これでうまくいくかな?」
工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図をもち, 方法を変えて工夫する ・ ものや方法, 場を選びなおす ・ 壊れた(壊れそうな)ところを改善する ・ どちらがいいか(方法等比較しながら)やってみる ・ よりよくなる工夫をする ・ 納得いくまであきらめずに繰り返す 「次はこうしてみよう」 「△△より, ○〇した方がいいかもしれない」 「～したら, おもしろくなるかもしれない」 「～って名前にしよう」(表示を作るなど) 「ぜったいこうしたい」 	表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試して気付いたことをつぶやく ・ 遊びの目的を話す, 伝える, 質問する ・ 友達の考えに共感する ・ 友達と考えを出し合う ・ できた(できそうな)喜びを感情に表す(表情・言葉・行動) ・ うまくいかなくやさや難しさを感情に表す(表情・言葉・行動) 「こうなったよ, みてみて」 「いいこと考えた!こんな風にしたんだよ」 「いい考えだね」 「じゃあ, こうしてみたらいいんじゃない?」 「こうしたらおもしろくなったね!」 「こうしたいけど難しいな」 「どうやったらいいかな」 「やったあ, ～ができた!」

自身の保育におけるこれらの取組を通して見られる, 幼児の「試行錯誤」する姿を分析し, 幼児が「試行錯誤」して遊ぶための, 援助のあり方を探っていく。